



空に向かってそびえ立つ道路

手結港可動橋

私たちの日常風景にある「手結港可動橋(夜須町手結)」。今春、自動車のテレビコマーシャルのロケ地として全国的に話題となり、以前に増して多くの人が訪れるスポットとなりました。市民である私たちでも知ってほしいというので実はよく知らないかも…と、この橋を訪ねてみました。

担当 広報編集委員 島村立法

全国でも珍しい、橋の片側だけが開閉する「跳開橋」である手結港可動橋。正式な名前は「高知県手結港臨港道路可動橋」という高知県の橋梁施設です。ヤ・シイパークと共に、平成14年のよさこい高知国体に合わせて完成しました。長さは約32メートル、幅は7.9メートルです。

日々の管理を引き受けるのは「手結可動橋操作クラブ」。操作員の小松忠志さん(夜須町)の案内で特別に操作室と橋を動かす駆動機械を説明してもらいました。

安全第一で!

橋を操作する際に最も気をつかうのは開閉の直前。「カン



▲橋を動かす時は事故がないよう細心の注意をはらいます

カンカンカン」と踏切音がした後、遮断機が下ります。この時に車や人がいるととても危険です。赤い旗を持ち、橋の周りを目で確認しながら安全確認を行います。「ふらりと猫が橋の上において、救出したこともあります」と小松さん。

安全であることが確認できたら操作卓のスイッチを押し、計器と実際に橋を見ながら開閉開始です。

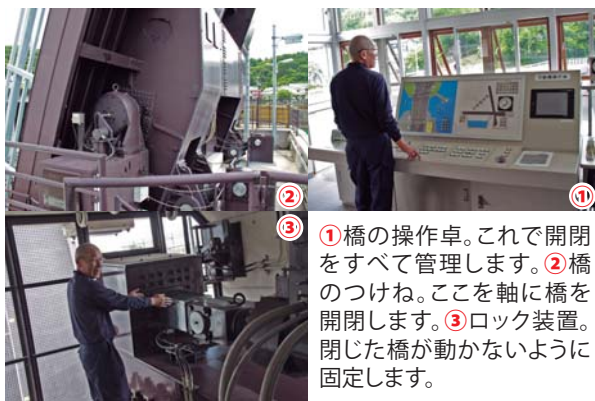
開閉にかかる時間は約6分。油圧の力で動くため、想像以上にスムーズ、そして静かに開閉することに驚きます。

一連の操作が完了したら再度周りの安全を確認してやっとなんと安心。「本当に危険なので、遮断機の内側に入って覗きこまないように」と小松さんはお願いしています。また、風速

手結の名物スポット

17メートル以上の風がある時は安全のため下ろしたままにするそうです。

可動橋ができるまでは手結内港の細道を人と車が行き来し不便でしたが、今ではとてもスムーズに。夜は港の照明で不思議な世界にいるかのような感覚になります。展望台もありますから、遠くからしか見たことない方はぜひ近くで見てみては?



①橋の操作卓。これで開閉をすべて管理します。②橋をつつね。ここを軸に橋を開閉します。③ロック装置。閉じた橋が動かないように固定します。

※特別な許可をもらい取材しています。施設内には通常は立ち入りできません。

編集後記

▼鉢に青紫蘇の苗を植えました。収穫して作る料理をあれこれ考えながら毎朝水やりをしています。食べべっけになうた青紫蘇たち。酢の物や冷奴の薬味に夏の香りをトッピングして楽しみたいと思います。(み)

▼昔スタッフをしたよさこいチームが2年ぶりに復活。大御所でも企業系でもないチームでも、踊り子募集コーナーで見たら、ほぼ最速で満員御礼の札が、なんか嬉しい。(た)

▼夏野菜が美味しい季節に。先日祖父母と一緒に苗を植えたトマトも無事収穫。いつもは食べる専門ですが、たまには作る側にも。感謝の気持ち忘れずにいただきます♪(り)

▼私のクールチョイス?えーと20年前のワンピースをいまだに着ています(笑)。お気に入りなので大事にしていきたいです。あなたのクールチョイスは?詳しくは11ページをご覧ください。(あ)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

マチイロ
スマホで
広報を見よう
「広報紙」はアプリ名称が「マチイロ」になりました。